

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	森長 正樹		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1405	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3-G 〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4-F 〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4-I 〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5-J 〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 D P 8-M 〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（20%） G 1 状況把握（30%） I 2 量的分析（20%） I 3 情報分析（20%） J 2 創造的思考（5%） M 1 統合的・応用的学修（5%）		
教員の実務経験	オリンピック大会（1992年・2000年）および国際大会に選手として出場した経験と、日本陸上競技連盟の強化コーチとして国際大会に指導者として参加した経験を生かして講義を行います（第1回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 研究、省察、反省の実践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究の実践および発表と振り返り ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでゼミナールⅠにおいて立案した研究計画の再検討を行い、それを実践し、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、発表することができることを目的とします。 ■授業のポイント 研究の進め方については個人競技における戦術・戦略についての分析方法やトレーニング計画等についても学習します。		
総合到達目標	■スポーツ科学分野における諸問題を把握し、その問題に対する探求力や分析する能力を修得するために、コーチング学における研究手法を実践し研究遂行時の具体的な過程について理解する。また、スポーツ科学分野の新たな可能性を探究する能力を養うために、立案した研究計画を再検討しゼミナール内での議論を通して研究に対する興味を深め、積極的に向き合う姿勢を身につける。 ・文献を収集し、自身およびグループの研究計画と関連づけることができる。（1～7回目） ・研究課題に応じた研究方法を選択し、実施することができる。（4～7回目） ・調査や実験から得られた結果を分析し、発表準備をすることができる。（8～11回目） ・自身およびグループの研究計画の発表と他者との討議を通して、研究計画を再検討することができる。（12～14回目） ・研究計画を整理し、研究課題の探究に努めることができる。（15回目）		
成績評価方法	■授業参加度（30%）適用ルーブリックG1・H1 （評価の観点）発表に向けての取り組みや、他者との連携、授業構築への参加などを総合的に評価を行います。 ■プレゼンテーション（70%）適用ルーブリック F 1 I 2 I 3 J 2		

	(評価の観点) 自身またはグループの研究実践結果を発表し、その内容について評価を行います。 (フィードバックの方法) 発表後に講評を行います。	
履修条件	ゼミナールⅠ (SSCS4605) を履修していること	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 担当教員の実務経験を踏まえて、トッパスリストを対象とした先行研究などを紹介しながら、講義を行います。 ③予習 (120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習 (120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
	2	①授業テーマ 研究計画の再検討① ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画における課題の解決とそれに必要な修正について、議論を通して確認する。 ③予習 (120分) 研究計画を実行するための現実的な課題について確認しておく。 ④復習 (120分) 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認しておく。
	3	①授業テーマ 研究計画の再検討② ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画における課題の解決とそれに必要な修正について、議論を通して確認する。 ③予習 (120分) 研究計画を実行するための現実的な課題について確認しておく。 ④復習 (120分) 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認しておく。
	4	①授業テーマ 研究の実践① ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習 (120分) 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
	5	①授業テーマ 研究の実践② ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習 (120分) 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
	6	①授業テーマ 研究の実践③ ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習 (120分) 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
	7	①授業テーマ 研究の実践④ ②授業概要 自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは調査、実験等様々な方法が想定される。 ③予習 (120分) 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習 (120分) 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
	8	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備① ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、発表の準備を行う。 ③予習 (120分) 発表に必要な情報の選出を行っておく。 ④復習 (120分) 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
	9	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備② ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、発表の準備を行う。 ③予習 (120分) 発表に必要な情報の選出を行っておく。 ④復習 (120分) 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
	10	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備③ ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、発表の準備を行う。 ③予習 (120分) 発表に必要な情報の選出を行っておく。 ④復習 (120分) 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
	11	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備④ ②授業概要 研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、発表の準備を行う。 ③予習 (120分) 発表に必要な情報の選出を行っておく。 ④復習 (120分) 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
	12	①授業テーマ 研究成果の発表① ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。 ③予習 (120分) 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。 ④復習 (120分) 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
	13	①授業テーマ 研究成果の発表② ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。 ③予習 (120分) 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。 ④復習 (120分) 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
	14	①授業テーマ 研究成果の発表③ ②授業概要 自身もしくはグループで研究成果について発表を行う。 ③予習 (120分) 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。 ④復習 (120分) 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。
	15	①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅡで行われた授業内容および発表会を振り返り、卒業研究、卒業論文に向けて必要な情報を整理する。 ③予習 (120分) 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。 ④復習 (120分) 卒業研究、卒業論文に向けて必要な文献の整理を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習(SSCS2317)	

教科書	ありません。
参考書・参考URL	ありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	

